

# J Aバンク静岡における地域密着型金融の 取組状況について（令和6年度）

---

令和7年9月



JAバンク静岡（県下JA・静岡県信連）では、農業と地域社会に貢献するため、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

今般、令和6年度における地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

# 目次

- I 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援の一層の強化  
(JAバンク静岡の農業メインバンク機能強化への取組み)
- II 担い手の経営のライフステージに応じた支援
- III 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底
- IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

# I 農山漁村等地域の活性化のための 融資をはじめとする支援の一層の強化 (JAバンク静岡の農業メインバンク機能強化への取組み)

JAバンク静岡は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

## 1. 農業融資商品の適切な提供・開発

- JAバンク静岡は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 令和7年3月末時点におけるJAバンク静岡の農業関係資金残高<sup>(注1)</sup>は32,084百万円、日本政策金融公庫の受託貸付金<sup>(注2)</sup>残高は9,336百万円となっています。

(注1) 農業関係資金とは、農業者及び農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JAバンク静岡が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

## 【営農類型別農業資金残高】

(単位：百万円)

類型	令和7年3月末
農業	30,383.3
穀作	1,923.1
野菜・園芸	9,551.5
果樹・樹園農業	3,183.6
工芸作物	3,813.6
養豚・肉牛・酪農	988.5
養鶏・鶏卵	275.7
養蚕	0
その他農業	10,647.0
農業関連団体等	1,700.9
合計	32,084.2

※「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者、及び農業サービス業が含まれています。

※「農業関連団体等」には、JAや経済連とその子会社等が含まれています。

### 【資金種別別農業資金残高】

(単位：百万円)

種類		令和7年3月末
プロパー資金		21,223.4
農業制度資金		10,860.7
	うち 農業近代化資金	6,207.1
	うち その他制度資金	4,653.5
合計		32,084.2

※「プロパー資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているものをいいます。

※「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJAバンク静岡が転貸で融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク静岡が低利で融資するものを対象としています。

※「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

### 【農業資金の受託貸付金残高】

(単位：百万円)

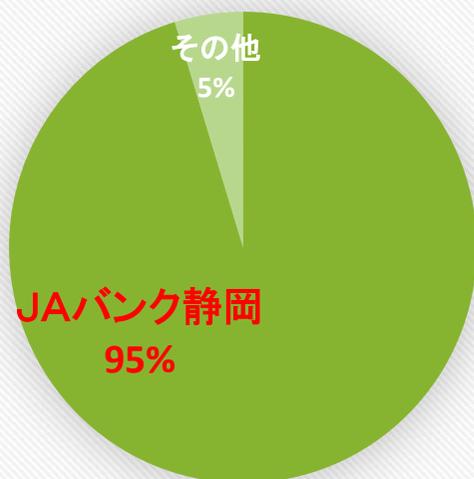
種類	令和7年3月末
日本政策金融公庫資金	9,336.7
その他	-
合計	9,336.7

※ JAバンク静岡では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取扱っています。

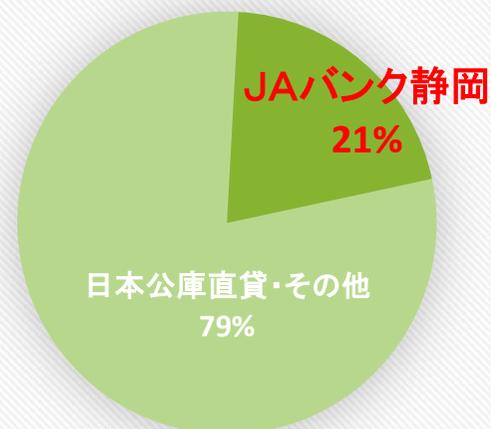
- JAバンク静岡は、主要な農業関係の制度資金である農業近代化資金や日本政策金融公庫資金（公庫直貸除く）の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

### 【静岡県の農業近代化資金及び日本政策金融公庫農業資金の取扱いシェア】

農業近代化資金 融資残高シェア  
(令和6年12月末時点)  
出所: 静岡県



日本政策金融公庫 農業資金取扱いシェア  
(令和7年3月末時点)  
出所: JAバンク静岡、日本政策金融公庫



## 2. 担い手のニーズに応えるための取組み

- JAバンク静岡では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。
- JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識を持った農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」が、県内10JAの本支店に23名配置され、JAの農業融資に関する活動をサポートしています。
- 静岡県信連では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充・強化に努めています。

## Ⅱ 担い手の経営のライフステージに応じた支援

JAバンク静岡は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

# 1. 次世代農業者の育成支援

- JAバンク静岡では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金などを取り扱っています。

## 【新規就農者をサポートする資金の取扱実績】

(単位：件、百万円)

資金名称	令和6年度 実行件数	令和6年度 実行金額	令和7年3月末 残高
青年等就農資金	64	382.0	3,588.0
就農支援資金	-	-	14.1
その他	3	21.4	13.8
合計	67	403.4	3,615.9

## 2. 食農バリューチェーン構築による農業・地域の成長支援 (商談会・ビジネスマッチング)

- JAバンク静岡では、農林水産業の事業力・収益力強化のため、行政や系統団体等と連携し、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。
- 令和6年度の成約件数は40件となり、主な成約事案は以下のとおりです。

# 静岡県初の 「地産地消型カーボンプレジットモデル」始動

マッチング先：株式会社フェイス

連携先：株式会社溝口商店・鈴与株式会社

## カーボンニュートラル



### カーボンプレジットによる持続可能な農業の実現

静岡県信連は、JAグループの一員として地域や農業に欠かせない存在となるため、さまざまな取組みを進めています。このようななか、株式会社フェイスが、J-クレジット制度において認定されている方法論「水稲栽培における中干し期間の延長」に基づき進めている取組みに着目しました。この方法は、農業者の脱炭素活動を支援し、その取組みをカーボンプレジットという形で収益化することを目的としています。静岡県信連はこの考え方に共感し、2024年4月に株式会社フェイスと連携協定を提携しました。

進んだ結果、2025年3月には県内の水田から353tのJ-クレジットが創出され、そのうち250tを鈴与株式会社に購入いただくことが決定しました。

これにより、地元で生み出されたカーボンプレジットを県内企業が活用する「地産地消型カーボンプレジットモデル」が、静岡県で初めて実現しました。



### 未来を創る地域連携モデル

県内でカーボンプレジットを創出し、地域内で活用することで持続可能な農業を実現しようというこの取組みが、生産者の意欲向上に貢献するのみならず、農業と地域経済を結ぶ新しいモデルとして定着し、さらに拡大していくと期待して、今後も継続して取り組んでいきます。

### 静岡初、水田から生み出す地産地消型J-クレジット

地域農業の持続可能性を高めるため、県下JA、静岡経済連と連携し、株式会社溝口商店をはじめとする生産者にこの取組みへ賛同いただきました。

さらに、この取組みに共感する県内企業にも働きかけ、生成されたJ-クレジットの購入を促



脱炭素農業の拡大に向け、株式会社フェイスと連携協定を締結

取組に共感した農業生産者に対して「水稲栽培における中干し期間の延長」を推進

地域で創出されたカーボンプレジットを県内企業に販売し、J-クレジットの地産地消を実現

### 「水稲栽培における中干し期間の延長」とは

「水稲栽培における中干し期間の延長」では、通常の中干し期間を7日間延長することで、メタン発生量を約30%削減できることが確認されています。適切な審査を経てクレジットの認証を受けることが可能であり、本制度は農林水産省の「みどりの食料システム戦略」や政府の地球温暖化対策計画にも位置付けられています。

# 「国産レモン」の持続可能な産地形成を目指して

マッチング先：JAふじ伊豆

連携先：株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ

食 農 V C



「国産レモン栽培発祥の地」で生産拡大と統一ブランド化を地域一体となって目指す

**熱海市は「国産レモン栽培発祥の地」**  
 JAふじ伊豆管内の熱海市は、明治の初め、外国人観光客が訪れた際にレモンが伝わったといわれており、日本で最初にレモンが栽培された場所として知られています。  
 現在、日本国内で流通しているレモンの約9

「国産レモン」の価値を理解してもらえる販売先の紹介依頼

割が外国産で、国産レモンは1割にも満たない状況です。しかし、近年は「食の安全・安心」への関心が高まっており、国産レモンの需要は年々増加しています。  
 このような状況を踏まえて、JAふじ伊豆では、レモンの生産拡大と統一ブランド化を目指

商談先にレモンの産地化に向けた取組みが共感され、運営する結婚式場で活用されることが決定

し、地域一体となって取組みを進めています。



## 価値を理解していただける販売先の探索

レモンの産地化に向けた取組みに伴い、生産量の増加が見込まれることから、販路拡大を目的として、JAふじ伊豆より静岡県信連に対し、価値を理解していただける販売先の紹介依頼がありました。

そこで、JAグループのネットワークを活用し、地域社会への貢献、生産者支援につながる希少性やストーリー性のある食材を求めている農林中央金庫取引先の株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ（本社：東京都品川区、直営婚礼店舗（全国57店舗））を紹介し、商談に至りました。



## 未来を彩るレモンの力、持続可能な産地形成を目指して

株式会社テイクアンドギヴ・ニーズは、日本のホスピタリティ業界をけん引するリーディングカンパニーを目指し、日本の高品質な第一次産品（魚、肉、果物など）の強味を活かす取組みを行っています。

今般、JAふじ伊豆によるレモンの産地化に向けた取組みが共感され、環境負荷の軽減を目指して「みどり認定」を取得している点も評価された結果、株式会社テイクアンドギヴ・ニーズが運営する結婚式場で提供される料理やレモンジュースの原料として、JAふじ伊豆のレモンを活用することが決定しました。



## 【その他食農ビジネスマッチング取組事例（抜粋）】

連携先	ニーズ内容	マッチング先	概要
農業生産法人	小ネギの販路紹介	農産物卸売業	スーパー・量販店等への販売が決定。
J A 静岡経済連	柔一ひとエティーバッグの販路紹介	施設管理業	商業施設内お土産コーナーでの販売が決定。
農業生産法人	ドローンによる農薬散布委託先の紹介	農業資材卸売業	ドローン取扱業者を紹介し、農薬散布を実施。
廃棄物処理業	高機能バイオ炭の試験的な活用	有機質肥料製造業	苗床用高機能バイオ炭培土を提供。
農業生産法人	猛暑および乾燥対策資材の紹介	農業資材製造業	植物活性剤の試験散布を実施。
酒類製造業	酒米用水稲中干し延長取組み支援先の紹介	脱炭素支援業	酒米生産農家向けに説明会を実施

### 3. JAバンク静岡講演会・セミナー等の開催

- JAバンク静岡では、お取引先様や系統団体等を招いたセミナーを開催し、担い手の経営力向上に貢献しています。

#### 【令和6年度講演会・セミナー開催実績】

講演会名	開催日	主催者	参加者	内容
アグリビジネスセミナー	令和6年11月19日	静岡県 静岡県信連	93名	補助金紹介・ 農業における事業継承

令和6年11月に、農業所得の向上や地域活性化に資することを目的として、農業者が活用可能な補助金の紹介および農業における事業継承をテーマにセミナーを静岡県と共同開催いたしました。




**JAバンク静岡**  
県下JA・静岡県信連


**参加費 無料**

明日の農業を担うみなさまへ  
**アグリビジネスセミナーのご案内**

**【講演①】** 農業者が活用可能な補助金  
**【講演②】** 農業における事業継承

こんなお悩みがある方におすすめします！

どんな補助金があるのか知りたい  
 補助金の活用事例を知りたい  
 事業継承とはなにか知りたい  
 事業継承のやり方が分からない

**日時** 令和6年11月19日(火) 13:30~

**開催場所** 静岡県農業会館5階 第17会議室   
(静岡県静岡市駿河区曲金3-8-1)

**主催** JAバンク静岡(県下JA・静岡県信連)・静岡県

**講師(予定)**

- 株式会社Stayway 浮田 沙希 氏
- 静岡県(経済産業部農業局)
- 大嶽公認会計士・税理士事務所 池谷 岳史 氏

**申込方法** 申込書に必要事項をご記入いただき、電子メール・FAX等でお申込みください。  
※WEB受講の方には、セミナー番号、セミナー資料等を別途送付いたします。

ご不明点等ございましたら、下記セミナー事務局もしくはお近くのJAまでお問い合わせください

静岡県信用農業協同組合連合会(略称:静岡県信連) 農業部(担当:中川、石原)  
 TEL: 054-284-9528 E-mail: nogyo@skb.or.jp

## 4. 災害等の被害を受けた方への支援

- JAバンク静岡では、災害により被災した方々を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や農業者の資金調達費用負担軽減のため、利子補給や保証料助成を実施しています。

【令和6年度 利子補給による支援（単年度）】

（単位：件、百万円）

支援項目	支援主体	内容	件数	助成等金額
平成30年台風24号静岡県災害緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	平成30年台風24号で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 149	利子補給額 4.0
令和元年台風19号静岡県災害緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	令和元年台風19号で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 29	利子補給額 0.4
令和元年降雹静岡県災害緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	令和元年降雹で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 27	利子補給額 0.2
新型コロナウイルス感染症静岡県災害緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた農業者に対する、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 267	利子補給額 5.4
令和3年突風静岡県災害緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	令和3年突風で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 4	利子補給額 0.1
令和4年台風15号静岡県災害緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	令和4年台風15号で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 11	利子補給額 0.2
令和4年ウクライナ情勢に伴う原油価格・物価高騰対策利子補給の実施	静岡県信連	ウクライナ情勢に伴う原油価格・物価高騰等により農業経営に影響を受けた農業者に対する、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 26	利子補給額 0.5
令和5年突風静岡県災害緊急特別対策利子補給の実施	静岡県信連	令和5年突風で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る利子補給	利子補給件数 1	利子補給額 0.1
<b>合計</b>			<b>513</b>	<b>11.1</b>

【令和6年度 保証料助成による支援（単年度）】

（単位：件、百万円）

支援項目	支援主体	内容	件数	助成等金額
令和4年ウクライナ情勢に伴う原油価格・物価高騰対策保証料助成の実施	静岡県信連	ウクライナ情勢に伴う原油価格・物価高騰等により農業経営に影響を受けた農業者に対する、県下JAの農業資金に係る保証料助成	保証料助成 件数 6	保証料 助成額 0.1
令和6年台風10号静岡県災害緊急特別対策保証料助成の実施	静岡県信連	令和6年台風10号で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る保証料助成	保証料助成 件数 3	保証料 助成額 0.2
令和6年10月突風静岡県災害緊急特別対策保証料助成の実施	静岡県信連	令和6年10月の突風で罹災した農業者に対する、県下JAの農業資金に係る保証料助成	保証料助成 件数 1	保証料 助成額 0.1
<b>合計</b>			<b>10</b>	<b>0.5</b>

## 5. 事業性評価を通じた農業者の経営課題の把握・課題解決 ソリューションの提供・蓄積

【令和6年度の農業者への経営改善支援等の取組実績】

(単位：先)

区分		期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち再生計 画を策定 した先 a	Aのうち期末に 債務者区分が ランク アップした先 b	Aのうち期末に 債務者区分が 変化しなかった 先 c	事業計画 策定率 = a / A	ランク アップ率 = b / A
	正常先 ①	5	5		5	100.0%	
要 注 意 先	うちその他要注意先 ②	11	8	0	8	72.7%	0.0%
	うち要管理先 ③	1	1	0	1	100.0%	0.0%
	破綻懸念先 ④	4	1	1	3	25.0%	25.0%
	実質破綻先 ⑤	3	0	0	1	0.0	0.0%
	破綻先 ⑥	0	0	0	0	—	—
	小計 (②～⑥の計)	19	10	1	13	52.6%	5.3%
	<b>合計</b>	<b>24</b>	<b>15</b>	<b>1</b>	<b>18</b>	<b>62.5%</b>	<b>4.2%</b>

### **Ⅲ 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、 担い手に適した資金供給手法の徹底**

JAバンク静岡では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

# 1. 資本供与の取組み（ファンドの活用）

- JAバンク静岡では、農業振興や環境に貢献する取組みを行う企業に投資し、その成長を支援しています。 **出資状況 7件 125,820千円**

（※令和7年3月末時点）

～（例）信用力強化に向けた資本供与（※令和3年度事業）～

- JAグループと取引のある農業法人に対する支援策として、JAと静岡県信連、農林中央金庫、アグリビジネス投資育成(株)が連携し、アグリシードファンドによる出資を行い、生産規模を拡大している当社の運転資金の支援を行いました。
- 出資を受けたことで、資本力が増強し、財務の安定性を図ることにより信用力の強化に繋がりました。信用力の強化は資金調達力の強化にも繋がります。
- 引き続き、JA営農・金融部門における支援がなされることから、静岡県信連では金融支援に加え、取引先等とのビジネスマッチングによる販路の確保支援等を図っていきます。



## 2. 負債整理資金による経営支援

- JAバンク静岡では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

### 【令和6年度負債整理資金の貸出実績】

(単位：件、百万円)

資金名	実行件数	実行金額	令和7年3月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	-	-	-
JA農業負債整理資金	-	-	44.0
<b>合計</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>44.0</b>

※「農業経営負担軽減支援資金」は、営農に必要な資金の借入により生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

### 3. 動産担保融資の活用

- JAバンク静岡では、農畜産物や事業用車両、各種在庫など様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組みを行っております。

静岡県における融資の実績は次表のとおりです。

#### 【動産担保融資活用実績】

(単位：件、百万円)

	令和6年度末	
	件数	残高
農産物	-	-
畜産物	6	96.2
機械設備	-	-
その他	-	-
合計	6	96.2

※内容：乳牛

## **IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した 持続可能な農山漁村等地域育成への貢献**

JAバンク静岡では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

# 1. 食・農への理解促進

- JAバンク静岡は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、令和6年度には特別支援学校を含む県下512校の小学5年生（約3万4千人）に配布され、学校の授業等において活用されています。



- JAバンク静岡は、「JAバンク静岡アグリサポートプログラム」における担い手育成支援事業として、農畜産業の担い手の育成や地域農業基盤の振興・発展及び地域活性化に繋げることを目的に、平成28年度より県内の公立高校や大学の学生が行う研究等に対して、費用助成を実施しております。

令和6年度については、対象校（県内の公立高校11校及び静岡県立農林環境専門職大学）が実施する28の研究等に対して、総額525万円の助成を実施し、令和6年7月5日(金)に静岡県立農林環境専門職大学、令和6年7月9日（火）に静岡県教育委員会にそれぞれ目録を贈呈いたしました。

写真左から  
静岡県信用農業協同組合連合会  
代表理事理事長 吉田 正吾

静岡県立農林環境専門職大学  
学生代表 柴田 佳歩 様



写真左から  
静岡県信用農業協同組合連合会  
農業部部長 本間 均  
静岡県信用農業協同組合連合会  
常務理事 厚見 雅彦  
静岡県信用農業協同組合連合会  
代表理事理事長 吉田 正吾  
静岡県教育委員会  
教育長 池上 重弘 様  
静岡農業高校  
校長 望月 康弘 様